

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 11 月 11 日 (月) (17:30 ~19:10)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 梶川 山本 大石 北野 婦木 八島 椿本
山崎 足立 中川 篠田 北岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	8 人	2 人	人	12 人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・ 継続し、利用者ひとりひとりに担当職員をつける。・ 利用開始前の情報について、利用前専用のファイルを作成し、情報提供書を回覧する形を取る。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・ 担当制を継続して、ミーティング時に話合えている。・ 情報提供書の確認が出来ていないことがある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	5	5	2		12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	8	4			12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	8	4			12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	6	6			12

できている点
<ul style="list-style-type: none">・ 新規利用者の情報提供書やケアプランに目を通し、できる限り情報の共有するように心がけている。・ 新規利用者やまだ慣れていない時期に、訪問や通いで不安を和らげる言葉掛けや気遣いが出来、関係を築けている。・ 丁寧な声掛け、普段との変化を注意して見守ること。・ 環境の変化に早期に慣れ、事業所の雰囲気にも馴染めるよう声掛けを頻回に行い、援助している。・ 介護疲れが出ていないか、家族へさりげなく声掛けする。・ 担当決めをしたことで、意識が付き、職員同士がお互いの利用者の情報を共有しようと声掛けしている。

できていない点
<ul style="list-style-type: none">・ 家族と話す機会や出会う機会が少なく、ご家族の思いを十分に聞き出せていない。・ 利用者開始前の情報と、直接、顔を合わせる事での理解では違いが当然あり、少しずつではあるが理解や関係作りに努めている。・ 服薬や入浴を拒否される方の対応が難しい。・ 公休の前後で情報確認が出来ていないままになっている時がある。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
継続して、利用者ひとりひとりに担当職員をつける。 退院前カンファレンスや新規相談時に、予め作成した聞き取りシートを用いる。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 11 月 11 日 (月) (17:30 ~19:10)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 梶川 山本 大石 北野 婦木 八島 椿本
山崎 足立 中川 篠田 北岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	6 人	2 人	人	12 人

前回の改善計画	・ケアプランを把握するため、確認する機会を設ける。具体的にはケアプラン専用のファイルを作成し、それに各利用者のケアプランを綴じる。また、必ず目を通すことが出来るように毎月 1 回、担当職員がプランの評価を行い、定期的に確認する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ミーティングでは、現状の課題やサービス内容を話し合い、結果的にケアプランの評価に繋がっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	2	7	3		12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	3	6	3		12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		8	4		12
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	4	8			12

できている点	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の利用者の関わりやコミュニケーションを通して「～したい」ことを聞き出している。 ・実践した内容や利用者与会話した内容等をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしている。 ・日々の生活される中で、利用者の思いの理解に努め、ADL から QOL を上げていくための介助を考えながら行うようにしている。 ・担当利用者のケアプランを確認し、同じように関われるよう、ミーティング等で確認し、業務に活かしている。 ・サービス内容について不明点があれば、その都度、確認するようにしている。
--------	--

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の当面の目標「～したい」を目指した日々の関わりが十分でないことがある。 ・ケアプランが個人ファイルに挟んであるがすべては把握出来ておらず、ゴールを知らない方もいる。 ・直接、本人から明確な目標を聞いたこと、接していく中で、希望や目標の理解しようとはしている。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	・各職員に全利用者のケアプランを配布し、それに沿ってミーティングを行う。
---------------	--------------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 11 月 11 日 (月) (17:30 ~19:10)

3. 日常生活の支援

メンバー 梶川 山本 大石 北野 婦木 八島 椿本
山崎 欠席者：足立 中川 篠田 北岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	5 人	3 人	人	12 人

前回の改善計画	・以前の暮らし方が把握できるように専門の用紙を作成し、2. のケアプランファイルに綴じる。
前回の改善計画に対する取組み結果	・情報提供書の生活歴を見ることや話の中で、以前の暮らし方を知ることが出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	4	4	4		12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	8	4			12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	8	2		12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	8	4			12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	7	5			12

できている点	<ul style="list-style-type: none"> ・いつもと違う様子や発言、体調の変化があった時は、リーダーに報告し、申し送りノート等で他の職員とも情報共有することが出来ている。また、家族には連絡帳や電話で報告し、家族とも共有出来ている。 ・基本である 3 大介助について、他職員からの新しい情報や発見（こうした方がよいなど）なども交えて、その都度よりよい介助に努めている。 ・ミーティングや申し送りで、問題となった出来事について、改善点を模索しながら、対策し、共有している。
--------	---

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> ・以前の暮らし方（全員分）の把握が出来ていないことがある。 ・言動について細かく、多角的に話し合う機会が少ないように思う。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	・以前の暮らし方を把握するため、生活歴を確認する機会を作る。
---------------	--------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 11 月 11 日 (月) (17:30 ~19:10)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 梶川 山本 大石 北野 婦木 八島 椿本
山崎 欠席者：足立 中川 篠田 北岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	5 人	2 人	人	12 人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネ訪問時に、事業所での様子を家族（遠方）に伝えられるよう、利用者訪問前に、ケアマネが担当職員に利用者の様子を尋ねる機会を設ける。また、ケアマネ訪問時に、聞きとった自宅での様子を職員にフィードバックする。 ・利用者を支援してくれている地域の人、友人、民生委員の名前や連絡先を把握した時にケアマネや職員が随時かきこんでいける用紙を作成し、情報共有していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネ訪問前には、利用者の担当職員に日々の様子等を聞き取り、自宅訪問している。また、職員からもいつもと違ったことがあれば、都度、ケアマネに報告し、情報共有している。 ・利用者を支援してくれている方や友人、民生委員は必要な方のみ個人ファイルに書き込んでいる状況。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	7	3		12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	5	4	3		12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	5	4	3		12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	3	6	3		12

できている点
<ul style="list-style-type: none"> ・担当利用者については、何とか出来ている。 ・ケアマネ訪問時に、事業所での様子を家族に伝えられるように、ケアマネに聞かれた時は、答えられるようにしている。 ・利用者の今の暮らしや必要な地域資源を把握出来ている。 ・本人の様子で伝えておくべき事は、その都度、家族へ連絡している。 ・ケアマネが事業所にいる時は、on Time の情報を伝えるようにしている。また、家族からの話も聞くようにしている。

できていない点
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の今の暮らしに必要な民生委員の把握には、個人差がある。 ・地域等社会資源との関わりは、日々の介助からは把握出来ていないことがある。 ・日々関わっていく中で、家族や生活スタイルなど人間関係を少しずつ理解していくことが多い。 ・利用者の支援者、資源については個人ファイルに書き込んでいるが、そこでしか情報を得られていない。

次回までの具体的な改善計画
<ul style="list-style-type: none"> ・継続して、ケアマネ訪問時に、事業所での様子を家族（遠方）に伝えられるよう、利用者訪問前に、ケアマネが担当職員に利用者の様子を尋ねる機会を設ける。また、ケアマネ訪問時に、聞きとった自宅での様子を職員にフィードバックする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 11 月 11 日 (月) (17:30 ~19:10)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 梶川 山本 大石 北野 婦木 八島 椿本
山崎 欠席者：足立 中川 篠田 北岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	4 人	3 人	人	12 人

前回の改善計画	・その人の住んでいる地域のサロンや 100 歳体操などインフォーマルなサービスをケアプランを閉じるファイルにメモしておく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・インフォーマルのサービスを利用している方については、何を利用されているか把握出来ている。利用していない方との個人差が大きい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	4	5	3		12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	8	4			12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	9	3			12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	7	5			12

できている点	<ul style="list-style-type: none"> 自分たち事業所だけで支えようとせず、出来るだけ地域の資源を使って支援出来ている。 日々の関わりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有し、話し合い、対応出来る。そして改善となり、繰り返しで変化に柔軟な支援している。 宅食サービスを利用出来ている。 近隣住民と連絡を取り、支えて、見守ってもらっている利用者もいる。 通い・訪問・宿泊についての家族のニーズには応えていると思う。
--------	--

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> 本人のニーズを聞いても、私の力では叶えてあげられないこともある。 地域資源の活用には個人差がある。 利用者によって、同じサービス内容であるのに関わる時間に差があると感じている。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	・インフォーマルのサービスを継続し、必要に応じて、地域資源の提供を勧める。
---------------	---------------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 11 月 11 日 (月) (17:30 ~19:10)

6. 連携・協働

メンバー 梶川 山本 大石 北野 婦木 八島 椿本
山崎 欠席者：足立 中川 篠田 北岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	5 人	3 人	人	12 人

前回の改善計画

- ・感染予防のもと、可能な範囲で地域のイベントに出かけたり、地域の人との交流の機会を作ったりする。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・少しずつではあるが、地域交流や行事等を再開出来てはいる。しかし、イベントに出向いてという形まで至っていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	5	5	2		12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	2	7	3		12
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	3	5	4		12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	3	5	4		12

できている点

- ・オレンジ会議やネットワーク会議に参加出来ている。
- ・事業所で交通安全教室を実施している。

できていない点

- ・日々の決められた義務を遂行するのに精一杯である。
- ・事業所において、少しずつではあるが地域交流が図れているが、地域のイベントに参加するまでには至っていない。

次回までの具体的な改善計画

- ・事業所イベントの開催や地域イベントへの参加を継続する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 11 月 11 日 (月) (17:30 ~19:10)

7. 運営

メンバー 梶川 山本 大石 北野 婦木 八島 椿本
山崎 欠席者：足立 中川 篠田 北岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	8 人	2 人	2 人	人	12 人

前回の改善計画
・地域の方から話やすい関係性を築くために、まずは利用宅に送迎や訪問に伺った時に、出会った近隣の方にあいさつをする。
前回の改善計画に対する取組み結果
・利用者によっては、その近隣の方と話す機会があり、相談ごとなども尋ねられることもある。 ・職員として積極的にあいさつ出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	6	3	3		12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5	4	3		12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4	5	3		12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	3	6	3		12

できている点
・利用宅に送迎や訪問に伺った時に、出会った近隣の方に、自分から積極的にあいさつ出来ている。 ・あいさつ程度のみであるが（頭をさげる程度）している。 ・利用者、家族からの意見は所長に伝える。 ・意見や苦情等は、情報共有し、みんなで話し合う雰囲気作りに努めている。

できていない点
・事業所のあり方よりも利用者に対するサービス内容の意見が優先してしまう。 ・積極的に地域と協働した取り組みを行えていない。 ・運営までは反映できない。

次回までの具体的な改善計画
・継続して、地域の方から話やすい関係性を築くために、まずは利用者宅に送迎や訪問に伺った時に、出会った近隣の方にあいさつする。 ・事業所のあり方について、まずは小規模の説明を出来るようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 11 月 11 日 (月) (17:30 ~19:10)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 梶川 山本 大石 北野 婦木 八島 椿本
山崎 欠席者：足立 中川 篠田 北岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	8 人	人	4 人	人	12 人

前回の改善計画	
・事業所内研修の二人体制を継続し、二人で一緒に研修に取り組むようにする。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
・今年度、当初は二人体制で研修に取り組んでいたが、途中よりオンライン研修に変更になっている。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	12				12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	5	5	2		12
③	地域連絡会に参加していますか	4	5	3		12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	7	8			12

できている点	
・研修当番の月は、そのテーマについて調べ、資料を作る。	
・オンライン研修が実施出来ている。	
・職場内での研修の参加や発表には出席している。	
・事業所内研修の担当月は他担当者と協力して、準備・実行出来た。	
・リスクを想定しながら、仕事に向き合うよう心掛けている。	
・リスクマネジメントは常に意識している。	

できていない点	
・オンライン研修を導入するまでは実施出来ていたが、切り替わり、現在は、2人体制での研修を行っていない。	
・地域連絡会に関わる機会がない。	
・研修において今後、参加したい、取得したいものを検討中。	

次回までの具体的な改善計画	
・オンライン研修とは別に、定期的に2人体制で研修に取り組み、発表する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 11 月 11 日 (月) (17:30 ~19:10)

9. 人権・プライバシー

メンバー 梶川 山本 大石 北野 婦木 八島 椿本
山崎 欠席者：足立 中川 篠田 北岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	8 人	4 人	人	人	12 人

前回の改善計画	・身体拘束、虐待、個人情報やプライバシーの研修を継続し、理解を深める。
前回の改善計画に対する取組み結果	・研修実施出来ており、理解し業務に携わられている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	12				12
②	虐待は行われていない	12				12
③	プライバシーが守られている	8	4			12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	5	6	1		12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	4	3		12

できている点	・身体拘束や虐待はない。 ・プライバシーは守るよう入浴時は、カーテンやタオル等で配慮出来ている。 ・研修にて身体拘束や虐待、プライバシー保護等を学んでいる。 ・精神的・肉体的苦痛を与えない関わりをするよう心掛けている。 ・利用者の目に個人情報の書類が、触れないよう配慮している。
--------	---

できていない点	・利用者の前で他の利用者の話をしてしまっていることがある。 ・職員同士で会話する時、大きな声で、その場にはいない利用者の話をすることがあり、プライバシーや個人情報の配慮に欠けている事に気がつかないこともあった。 ・スピーチロックをしてしまったことがある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	・研修の継続と、必要に応じた研修も行っていく。
---------------	-------------------------

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団 紀洋会	代表者	余田洋右	法人・事業所の 特徴	法人運営理念「地域に根ざした誠実でより良い医療・介護の実践」に基づき、まずは誠実であることから信頼に繋げていきたいと支援しています。特に在宅での生活をいかにサポートするかを本人や家族と協力しながら事業所の運営を行ってきました。できる限り在宅での生活を支援するため、その方にあった訪問回数や内容（買い物や掃除等）を提供しています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 柏原の郷	管理者	梶川 丞		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	5人	0人	1人	1人	0人	1人	0人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・会議事録を添付資料とし、目視で確認できるようにする	・添付資料として提示した。	・事業所評価表での判断評価になるので、なんとも言えない。また、わからないことがある。	・各項目に関して、見える化出来るように取り組む。 ・継続して、会議録を添付する。
B. 事業所のしつらえ・環境	・感染状況を見ながら、地域交流の行事を再開し、その様子を写真や動画に残す。	・事業所内行事の様子は写真に残せているが、地域交流は予定していたが、天候不良や日程が合わず実施できていない。	・コロナ等で実施出来ていないのは仕方ない部分もある。	・事業所に入入りしてもらい機会を増やし、事業所の雰囲気を理解してもらい。その為、参加型のイベントを計画する。
C. 事業所と地域のかかわり	・継続して、地域での困っている方の把握に努める。また、事業所を利用されている方を担当されている民生委員と連絡を取り、相談しやすい関係性を築く。	・民生委員や近隣の方には、利用について報告しているのもあり、相談事を何度か受けている。	・特になし。	・相談しやすい関係性を築くため、地域の行事に参加する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・新規利用される際には、民生委員さんにも連絡し、利用曜日等を伝え、連携しやすい関係を築き、相談しやすくする。	・利用者を担当される民生委員や近隣住民には柏原の郷を利用されていることを周知し、相談事を事業所に尋ねてもらっている。	・特になし。	・利用者が参加しているイベントに同行して、柏原の郷を知ってもらい、関係性を築いていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・地域の心配な方等の状況等を共有できるように継続して、レジュメに項目を挙げ、意見交換を行う。	・運営推進会議において、地域で困っておられる方がいないか確認し、把握に努めている。既に他ケアマネが担当されているケースが多く、包括への情報共有として活用出来ていると感じる。	・困っている方に、既に他ケアマネが担当されている場合、どこまで踏み込んで話をしようかかわからないと意見が多い。	・運営推進会議レジュメに地域の心配な方の状況等を共有できるように、継続して、項目を挙げる。
F. 事業所の防災・災害対策	・継続して、警報時に自治会に状況とどう対応するかを報告する。	・今年度において避難が必要な警報もなく、実際に連絡することはなかった。	・今年度においては、大きな警報もなく、連絡はなかったが昨年度は連絡をもらえた。	・継続して、警報時に自治会へ状況や対策等を報告する。